



週間情報



No.0743

発行日 令和7年11月11日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 令和7年度全国消防長会予防委員会秋季常任委員会を開催

全国消防長会予防委員会

令和7年10月23日（木）、千葉県千葉市（セーフティーちば）において、令和7年度全国消防長会予防委員会秋季常任委員会を開催しました。

会議の議事等は、次のとおりです。

【議題】

次期開催地について

【情報交換】

- 1 リチウムイオン電池を搭載した製品から出火した火災の発生状況及び火災予防広報方法について
- 2 展示場・百貨店におけるリチウムイオン電池（危険物品）の持込みへの対応（禁止行為解除含む）について
- 3 製品火災調査に係るX線透過装置使用の基準等について

【情報提供】

- 1 消防研究センターの体制と事業概要について
- 2 日本消防検定協会の業務紹介等
- 3 日本火災報知機工業会の取り組みについて
- 4 令和7年度予防広報委員会の実施内容について（政令市消防局予防担当部長による会合の実施結果）【日本防災協会】
- 5 一般財団法人日本消防設備安全センターからのお知らせ
- 6 一般財団法人日本ガス機器検査協会からのお知らせ
- 7 「ハロン消火剤と予防行政に関する研修会 2025」開催のご案内【消防環境ネットワーク】

【報告事項】

火災予防関係コンテンツ（リーフレット、動画等）の共有について

【消防庁講話】

大船渡市林野火災を踏まえた今後の林野火災予防対策について



【委員長挨拶】



【情報交換の様子】

◆ 令和7年度富山県下消防署「警防技術交換会」を開催

富山県消防長会（富山）

富山県消防長会では、令和7年10月14日（火）、富山県広域消防防災センター（富山市惣在寺）の街区家屋訓練場において、令和7年度富山県下消防署「警防技術交換会」を開催しました。

この交換会は、県内各消防本部の消防戦術を発信することで、警防活動体制の共有化を図り、警防対策と安全管理対策の向上に資することを目的として、毎年開催しているものです。

当日は、県内の7消防本部（局）の26消防署から延べ43隊183人が参加し、住宅火災を想定したブラインド型の訓練において、先着隊の消防力が劣勢時における消火活動と救助活動を行うことを目標として、実践的な活動を展開しました。



【訓練の様子】

消防本部の動き

訓練

◆ 水道施設における災害を想定した救助訓練を実施

那覇市消防局（沖縄）

那覇市消防局では、令和7年10月14日（火）から16日（木）までの3日間、関係機関にご協力いただき、水道施設における災害を想定した救助訓練を実施しました。

この訓練は、特殊な環境下における救助技術と上下水道設備に関する知識の向上を図るとともに、万全の救助体制を構築することを目的として実施したものです。

当日は、水道施設において、危険要因の事前把握や災害発生時の活動要領について再確認し、関係機関との連携強化を図ることができました。

今後も、さまざまな災害に対応できる部隊を目指して、各種訓練に取り組んでまいります。



【訓練の様子】

◆ 2 機関と合同で列車事故対応訓練を実施

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、令和7年10月15日（水）、神戸電鉄株式会社および兵庫県警察本部と合同で、列車事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、大規模災害時における多数傷病者発生事案への対応力の向上を図ることを目的として実施したもので、事前に教養研修と図上訓練を重ねてきました。

当日は、各機関から計130人が参加し、「列車と乗用車の接触事故により、乗用車と列車内に多数の傷病者が発生した。」との想定で、神戸電鉄株式会社による事故状況の把握、消防・警察への通報、安全措置を行った後、乗客および傷病者の避難誘導、救出活動、傷病者のトリアージ（緊急度判定）、救急搬送までの一連の対応要領を再確認し、相互理解を深める貴重な機会となりました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応力のさらなる向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 2 機関と合同で林野火災連携訓練を実施

笠岡地区消防組合消防本部（岡山）

笠岡地区消防組合消防本部では、令和7年10月15日（水）、岡山県消防防災航空隊および岡山市消防航空隊と合同で、林野火災連携訓練を実施しました。

当消防本部は、同年10月1日（水）に複雑多様化する災害に対応することを目的として、特別救助隊を新たに発隊しました。

この訓練は、特別救助隊を含めた地上部隊と航空隊との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、各機関から計33人が参加し、近年、全国で多発する大規模林野火災を想定し、複数のヘリに対する消火バケットへの給水連携訓練と、笠岡ふれあい空港を活動拠点（フォワードベース）とした航空交通管制を含めた連携訓練を行いました。

この訓練を通じて、各機関との連携強化を図ることができたほか、より迅速かつ効果的な災害対応体制を構築することができました。

今後も、地域の安全・安心の確保のため、実践的な訓練を継続してまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 特別消火隊合同訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年10月16日（木）、隣接する大津市消防局と特別消火隊合同訓練を実施しました。

この訓練は、火災現場における効果的かつ安全な消防活動技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、一般建物火災における屋内進入要領などを特別消火隊が互いに披露したほか、大津市消防局とさまざまな情報交換を行い、現場対応力の強化を図ることができました。

今後も、合同訓練を継続し、顔の見える関係を構築するとともに、さらなる連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 総合防災訓練を実施

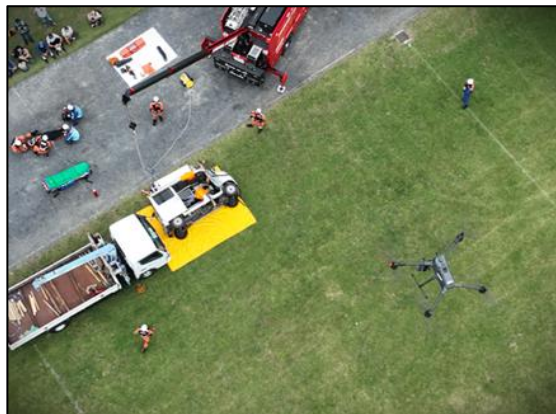
春日部市消防本部（埼玉）

春日部市消防本部では、令和7年10月18日（土）、レジデンシャルパークSHOWA（庄和総合公園）において、消防団および「災害時における無人航空機による協力協定」を締結しているセキドパートナーズと合同で、総合防災訓練を実施しました。

当日は、「春日部市内において震度6強の地震が発生した。」との想定で、災害時に想定される多様な状況を再現し、道路啓開活動、ドローンによる被災状況の先行調査活動、倒壊家屋や瓦礫下敷きからの救助活動、多重衝突事故現場における救出活動などを実施しました。

また、地域の自主防災組織の方々に訓練を見学していただき、市民一人一人の防災意識を高めることができました。

今後も、このような訓練を多く取り入れ、消防防災体制の充実強化を図るとともに、「自助・共助・公助」が連携した災害に強いまちづくりを推進してまいります。



【多重衝突事故救出訓練】



【倒壊家屋、瓦礫下敷きからの救出訓練】

◆ 「救急活動錬成会」を開催

八千代市消防本部（千葉）

八千代市消防本部では、令和7年10月20日（月）、21日（火）の2日間、全救急隊を対象として、「救急活動錬成会」を開催しました。

この錬成会は、傷病者に対する観察・判断・処置能力と救急活動の質の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、MC指導医師を講師としてお招きし、実践的な想定訓練をブラインド形式で行い、傷病者に対する観察・判断・処置、プロトコールに沿った適切な特定行為の実施状況を確認していただきました。

また、訓練後に検討会を行い、指導救命士から訓練実施隊の活動状況の講評と講師から医学的見地に基づく指導をいただきました。

今後も、訓練を継続し、救急活動の質を高め、救命率の向上につなげてまいります。



【訓練の様子】



【検討会の様子】

◆ 静岡県西部地区消防長会大規模災害訓練を実施

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部（静岡）

袋井市森町広域行政組合袋井消防本部では、令和7年10月23日（木）、袋井市にある小笠山総合運動公園（エコパ）において、静岡県西部地区6消防本部（湖西市消防本部、浜松市消防局、磐田市消防本部、掛川市消防本部、菊川市消防本部、御前崎市消防本部）と合同で、静岡県西部地区消防長会大規模災害訓練を実施しました。

この訓練は、大規模林野火災発生時の応援体制の確立と連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、離れた水源から火点までの約680メートル間を、ポンプ車および可搬ポンプによる長距離中継送水を行い、防火水槽や簡易水槽を活用した放水戦術との比較検証を行いました。

また、ホース延長距離約280メートル、高低差約35メートルの区間において、CAFSによる単独放水を実施したほか、ドローンによる上空からの情報収集を行い、指揮活動を支援しました。

今後も、関係消防本部との連携強化を図るとともに、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

研 修

◆ L Pガスに関する訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和7年10月23日（木）、高圧ガス保安活動促進週間とLPガス消費者保安月間の一環として、管内のガス事業者とバルクローリー車の製造会社にご協力いただき、LPガスに関する訓練を実施しました。

この訓練は、LPガスに関する基本的な知識・手技を習得するとともに、消防活動上の危険性を理解し、安全かつ迅速な消防活動を行うことを目的として実施したものです。

当日は、同社社員から、LPガス容器およびバルクローリー車に関する基礎知識についてご講義いただいた後、LPガス容器と調整器の離脱方法やバルクローリー車の各機器の取り扱いについてご指導いただき、現場活動に有益な知識の習得と活動技術の向上を図ることができました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 「千葉北総ドクターヘリ事例検討会」を開催

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和7年10月27日（月）、日本医科大学千葉北総病院および取手市消防本部と合同で、「千葉北総ドクターヘリ事例検討会」を開催しました。

当日は、ドクターヘリを活用した救急事案について事例検討を行い、出席した医師から助言をいただいたほか、出席した職員から多くの質問があり、活発な意見交換を通じて情報共有を図ることができました。

今後も、早期医療介入による救命率の向上と後遺症の軽減を図るため、ドクターヘリとの連携強化に努めてまいります。



【検討会の様子】

◆ 「バス構造研修会」を実施

豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和7年10月27日（月）、名鉄バス株式会社豊田営業所にご協力いただき、「バス構造研修会」を実施しました。

当日は、日頃からバス車両の運行および整備を行うプロの職員から、さまざまな種類のバス車両の構造についてご講義いただいた後、実際に運行しているバス車両を活用し、非常時における車内外からの扉開放を実践しました。

この研修会を通じて、バス車両に関する専門的な知識を習得することができ、安全確実な災害対応につながる良い機会となりました。

今後も、市内の事業所との連携強化を図るとともに、市民の安全・安心な暮らしが実現できるよう努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防功労者に感謝状を贈呈

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部（群馬）

多野藤岡広域市町村圏振興整備組合消防本部では、令和7年10月27日（月）、消防功労者の2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年9月9日（火）、管轄内で発生した建物火災において、配送業務中の消防功労者の2人が、立ち昇る黒煙を発見して、迅速な119番通報と居住者を安全な場所まで避難誘導し、尊い人命を保護したものです。

消防功労者2人の功績を称え敬意を表すとともに、消防行政が地域の皆さまに支えられて成り立っていることを再認識する機会となりました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に消防長から感謝状を贈呈

水俣芦北広域行政事務組合消防本部（熊本）

水俣芦北広域行政事務組合消防本部では、令和7年10月29日（水）、消防協力者の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月13日（火）、管内の総合グラウンドにおいて、心肺停止となった男性に対し、消防協力者の5人が連携して、早期の119番通報、胸骨圧迫、AEDを活用した除細動を行い、迅速かつ的確に救急隊に引き継いだものです。

男性は、救急車内で心拍が再開し、搬送先の病院で治療入院後、後遺症もなく社会復帰しました。

消防協力者5人の勇気ある行動は、一次救命処置の模範であり、その多大な功績に対して心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「サイトワールド2025」において防火防災訓練を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁防災安全課では、令和7年10月16日（木）、17日（金）の2日間、すみだ産業会館で開催された「サイトワールド2025」において、防火防災訓練を実施しました。

このイベントは、視覚障がい者の方を対象とした、最先端製品の展示、講演会、討論会などが行われ、年に1度開催されています。

当日は、全国から視覚障がい者やその支援者が参加し、模擬消火器を使用した初期消火訓練、119番通報訓練、応急救護訓練、家具転対策器具の展示を行い、実際に器具などに触れながら体験していただいたことで、防火防災意識の啓発を図りました。

参加者からは、「実物に触れる機会は貴重でした。」、「防災の重要性が理解できました。」など、多くの意見をいただきました。

今後も、一人でも多くの要配慮者とその支援者に対し、防火防災意識の普及啓発を図るとともに、防災行動力の向上に努めてまいります。



【防火防災訓練の様子】

◆ 炊き出し訓練を実施

岸和田市消防本部（大阪）

岸和田市消防本部では、令和7年10月17日（金）、大規模災害時における職員への後方支援の一環として、炊き出し訓練を実施しました。

当日は、同年8月22日（金）、一般社団法人大阪府LPガス協会岸和田貝塚支部より寄贈いただいたデリバリーステーション一式を活用し、当消防本部総務職員が炊飯と豚汁の調理を行い、当消防本部、同LPガス協会、岸和田市危機管理課の職員に試食していただきました。

この訓練を通じて、後方支援に関する課題を把握することができたほか、関係機関との連携強化につなげることができました。



【炊き出し訓練の様子】



【寄贈後の記念撮影】

◆ 住宅用火災警報器広報リレーを実施

知多中部広域事務組合消防本部（愛知）

知多中部広域事務組合消防本部では、令和7年10月23日（木）、住宅用火災警報器広報リレーを実施しました。

この取り組みは、管内の11団体にご協力いただき、住宅用火災警報器に係る普及啓発を図ることを目的として実施したもので、住警器の広報用マグネットシートをバトンに見立て、各団体が運用する車両に順次貼り付けていただき、リレー方式で広報活動を展開しています。

当日は、第4走者であるバス会社から、第5走者であるタクシー会社2社にバトンをつなぎました。

実施期間は、令和7年8月29日（金）から12月3日（水）までの間で、1団体あたり13日間掲示していただいた後、次の団体へ同マグネットを引き継いでいただきます。

今後も、多くの団体と連携を図るとともに、住警器の広報活動を幅広く推進してまいります。



【広報リレーの様子】

◆ 消防フェアにおいて通電火災に関する予防広報活動を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和7年10月19日（日）、消防フェアにおいて、通電火災に関する予防広報活動を実施しました。

このイベントは、市町民に消防活動への理解を深めていただくとともに、防災意識の高揚を図り、「安全・安心なまちづくり」に寄与することを目的として実施したものです。

当日は、広報ブースにおいて、職員が自作した感震ブレーカーのデモ機を展示し、来場した多くの方々に感震ブレーカーが作動する仕組みを体験していただきました。

今後も、火災予防運動や自主防災訓練などのイベントで当デモ機の展示を行い、感震ブレーカーの設置普及・促進に努めてまいります。



【展示の様子】



【感震ブレーカーのデモ機】

◆ 「駿東伊豆消防職員スポーツ大会」を実施

駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和7年10月21日（火）、かなみスポーツ公園多目的運動場において、「駿東伊豆消防職員スポーツ大会」を実施しました。

この大会は、職員の健康増進と相互の親睦を図ることを目的として実施したものです。

当日は、非番者および週休者約170人が参加し、全4種目（障害物リレー・綱引き・ボール送り・リレー）を行い、普段顔を合わせることの少ない職員との親睦を深め、組織の団結力を高めることができました。



【スポーツ大会の様子】

◆ 消防団協力事業所によるインフルエンザワクチン特別提供を開始

習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和7年10月29日（水）、2次医療機関であり消防団協力事業所の医療法人社団津田沼中央総合病院からインフルエンザワクチンを特別にご提供いただき、希望する職員と消防団員を対象にインフルエンザ予防接種を実施しました。

このワクチンは、インフルエンザの流行期に備え、地域防災力を維持することを目的として、同病院からご提供いただいたものです。

当日は、同総合病院の附属病院である津田沼ザ・タワークリニックにおいて、予防接種を行い、職員と消防団員の健康保持と円滑な消防活動の確保につなげることができました。

今後も、地域医療機関との連携強化を図るとともに、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【予防接種の様子】



【記念撮影】

国等の動き

消防庁通知等

◆ 飛び火警戒要領の見直し等について（通知）

（消防消第463号、令和7年10月29日）

消防庁消防・救急課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防庁では、令和7年2月26日に発生した大船渡市林野火災を受け、「大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会」を開催し、本検討会において、林野火災に係る今後の消防防災対策のあり方について、報告書（令和7年8月）がとりまとめられました。

本報告書では、大船渡市林野火災において、飛び火による広範囲の延焼が見られ、同時多発的に住家への被害が発生したことから、これらへの対策について勘案し飛び火警戒要領を見直すことが重要であると提言されています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20251029_tobihi.pdf) に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁消防・救急課警防係

高木課長補佐、鈴木係長、小関事務官

TEL：03-5253-7522（直通）

E-mail：keibou@ml.soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和7年9月の熱中症による救急搬送状況

(令和7年10月29日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和7年9月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuk_20251029_1.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：竹田課長補佐、松田係長、三宅事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和7年（5月～9月）の熱中症による救急搬送状況

(令和7年10月29日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和7年5月から9月までの確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20251027_2.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：竹田課長補佐、松田係長、三宅事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 令和7年秋の褒章（消防関係）

（令和7年11月2日、消防庁）

令和7年秋の褒章（消防関係）受章者は107名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	2名
黄綬褒章	7名
藍綬褒章	98名
計	107名

（受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 令和7年11月3日（月）

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20251102_soumu_1.pdf）に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

渡部係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521（直通）

E-mail : fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくだ
さい。

◆ 令和7年秋の叙勲（消防関係）

（令和7年11月3日、消防庁）

令和7年秋の叙勲（消防関係）受章者は618名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝中綬章	1名
瑞宝小綬章	33名
旭日双光章	4名
瑞宝双光章	45名
瑞宝単光章	535名
計	618名

（受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。）

発令年月日 令和7年11月3日（月）

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/251103_soumu_2.pdf）に掲載されています。

連 絡 先

消防庁総務課

渡部係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521（直通）

E-mail: fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくだ
さい。

情報提供

◆ 横浜市消防局の司令センターを舞台とした新春スペシャルドラマの放送開始について

横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、当局の司令センターを舞台とした、フジテレビ新春スペシャルドラマ「119 エマージェンシーコール」の撮影に全面協力しています。

令和7年1月から3月まで放送した前作品では、高視聴率を維持しながら放送を終了することが出来ました。

この作品を通じて、消防業務への理解促進や、指令管制員の実状などを視聴者にご理解いただき、119番通報の適正利用などにもつながればと考えています。

ぜひ、各都市消防本部の皆さまにも同ドラマをご視聴いただけるようにドラマの概要についてご紹介させていただきます。



【ドラマのサムネイル】

- 1 作品名
「119 エマージェンシーコール」
- 2 放送局
フジテレビ
- 3 放送日時
令和8年1月3日（土）21時30分予定
- 4 番組公式HP
<https://www.fujitv.co.jp/119emcall/>
- 5 その他
疑義がございましたら、下記担当までお問い合わせください。

担当：総務部企画課共創・広報担当
御所脇、石原

TEL :045-334-6543

Email:sy-kikaku@city.yokohama.lg.jp

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 中西

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 吉田

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。